

第9回 江別市かわまちづくり勉強会 現地視察資料

令和4年6月30日

江別市

1. 現地視察の流れの説明
2. 江別河川防災ステーション等の説明
3. 現地視察

河川空間の利活用に関する主な意見①

No.	概要
第2回	年1回ミズベリングで 弁天丸でのクルージング をやっているが、そのような形で川と親しむのは良いことだと思う。
	6～9月の暖かい時期に週1回でも 船 に乗れば楽しいと思う。
	実際に SUP や カヌー をやっている人がいるので、そういったアクティビティの拠点にしたり、 遊覧船 の頻度を多くしてもいいと思う。
	カヌー や ヨット をやりながら 自転車での周遊 や バーベキュー 、温泉等を楽しむといった環境が重要だと思う。
第3回	防災ステーションの下流に延びている敷地で、テントを張って キャンプ や バーベキュー をしたり、今流行りの テントサウナ もできるかもしれない。
	堤防が土堤になることで緩傾斜になり水辺に近づきやすくなるので、そうしたうまみを活かして、安全性を担保した上で 水辺と触れ合えること を考えていくことが重要である。
第4回	河川区域の低い場所に 広場 を整備して朝マーケットやカフェ、マルシェを実施し、そこでの収益を外輪船、母屋、隣接する施設、河川の一体的な運営に充てる管理体制・組織が必要だと思う。
	条丁目地区はJR江別駅からも近いので、地域のハブや都市型ウォーターフロントになりえるし、川を使って ウォータータクシー で通勤したり、 フォールディングカヌー で下るといった利用の拠点としても考えられる。
第5回	工作所跡地を キャンプ場 や スケボーパーク にしてもよいと思う。

河川空間の活用に関する主な意見②

No.	概要
第6回	昔の子供たちが川で遊んだりしたように、 気軽に触れられ遊べるようになる と良い
	クルーズ をもっと定期的にできると良い。
	雪合戦 や ドッグラン といった関心を引くような取り組みをしてもよいのではないかと。
第7回	川が近いところで遊べる と繋がりができて良い。

※黄色網掛：大川通地区に係る意見内容

江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER Vol.03 2021.10.8

第3回勉強会 報告：9/28(火)開催

旧岡田倉庫の活用と桑丁地区のかまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとしてWeb勉強会を開催しました。Web勉強会では、下記の議題①について江別市、江別河川事務所の説明、議論からは活用・現況や運営体制について意見交換しながら「ドローイング」を行いました。

新型コロナウイルスの非常に厳しい状況にありますが、色々な方々と議論を重ねながら、桑丁地区を元気にしていきたいと思えます。

今回の勉強会の議題

- ①今後の勉強会の進め方等について
- ②前回勉強会等の振り返り
- ③意見交換をしながらのドローイング

意見交換の概要

「対岸の江別川防災ステーションも活用した水辺利用」「場所の桜並木の整備」「子どもがのびのび遊べる公園空間の整備」「桑丁地区でイベントを実施する際の一元管理」「外輪船をシンボルとしたかわまちづくり」等に関する意見が挙げられました。

勉強会については、様々な立場からの御意見を今後協力的にいくことが提案されました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市桑丁地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、桑丁地区をより明るく元気づけるための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

桑丁地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和3年10月
開催予定
です！

江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER Vol.04 2021.10.26

第4回勉強会 報告：10/18(月)開催

旧岡田倉庫の活用と桑丁地区のかまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

勉強会では、下記の議題①について江別市及び江別河川事務所の説明、議論からは参加者が3グループに分れて、かわまちづくりや拠点づくりに関する「グループワーク」を行いました。

新型コロナウイルスの非常に厳しい状況にありますが、色々な方々と議論を重ねながら、桑丁地区を元気にしていきたいと思えます。

今回の勉強会の議題

- ①前回勉強会等の振り返り
- ②グループワークでの意見交換

グループワークの発表内容

「外輪船」の活用イメージ

グループワークの概要

「誰に桑丁地区に来てもらいたいか？」「まちを好きになってもらうためには？」「それを実現するための課題は？」「外輪船や旧岡田邸母屋等について」をテーマに活発な意見交換が行われ、「子どもが安心して遊べる場所の整備」「住民の暮らしに寄り添ったサービスの提供」「外輪船・旧岡田邸宅等の一休管理により収益を得る仕組みづくり」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市桑丁地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、桑丁地区をより明るく元気づけるための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

桑丁地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和3年11月
開催予定
です！

江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER Vol.05 2021.11.25

第5回勉強会 報告：11/16(火)開催

旧岡田倉庫の活用と桑丁地区のかまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

勉強会では、下記の議題①について江別市及び江別河川事務所の説明、議論からは参加者が4グループに分れて、かわまちづくりや拠点づくりに関する「グループワーク」を行いました。

新型コロナウイルスの非常に厳しい状況にありますが、色々な方々と議論を重ねながら、桑丁地区を元気にしていきたいと思えます。

今回の勉強会の議題

- ①前回勉強会等の振り返り
- ②グループワークでの意見交換

グループワークの発表内容

グループワークの概要

「誰がどんな暮らしをしているか？」「広域で見た時の桑丁地区の役割は？」「周辺地区との連携は？」「事業スキーム」等をテーマに活発な意見交換が行われ、「桑丁地区の歴史に相応しい空間整備」「子育て世代がまちに響いてこられる仕組みづくり」「事業の実施による周辺地域との繋がり構築」「かわまちづくりの担い手確保」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

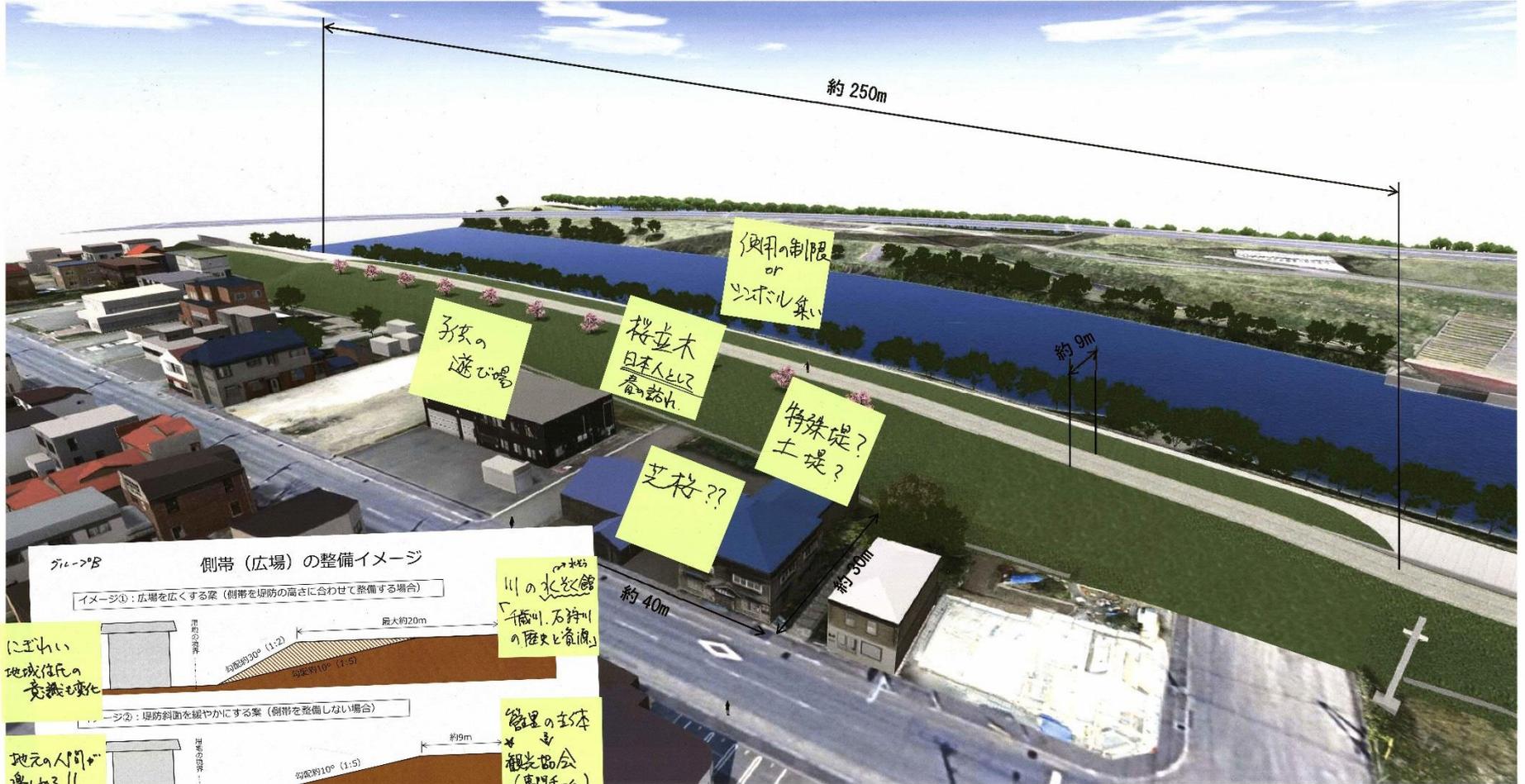
千歳川と江別市桑丁地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、桑丁地区をより明るく元気づけるための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

桑丁地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和3年12月
開催予定
です！

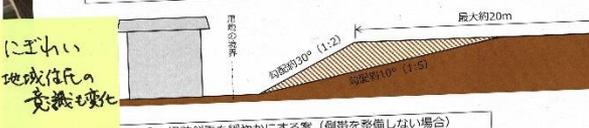
第6回勉強会グループワークでの成果②

グループB



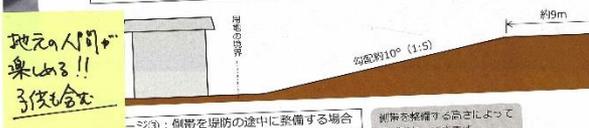
グループB 側帯（広場）の整備イメージ

イメージ①：広場を広くする案（側帯を堤防の高さに合わせて整備する場合）



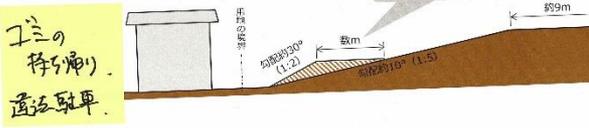
にぎわい
地域住民の
交流の場

イメージ②：堤防斜面を緩やかにする案（側帯を整備しない場合）



地元の人々が
楽しめる!!
子供も喜ぶ

イメージ③：側帯を堤防の途中に整備する場合



工場の
持ち帰り
遠征駐車

第6回勉強会グループワークでの成果③

グループC

地元の人も
気軽に散歩

光の誘導で
賑わいを
増やそう!!



ココ使う

桜を管理しながら
散歩

BBQ 約250m
長林西道
新田から

水辺は散歩に
おススメ

「川が楽しい所」
増やして欲しい

近隣の人が
散歩に来る



散歩が
人集まる
場所

水辺に
散歩場

お茶の市は
ココがいいね

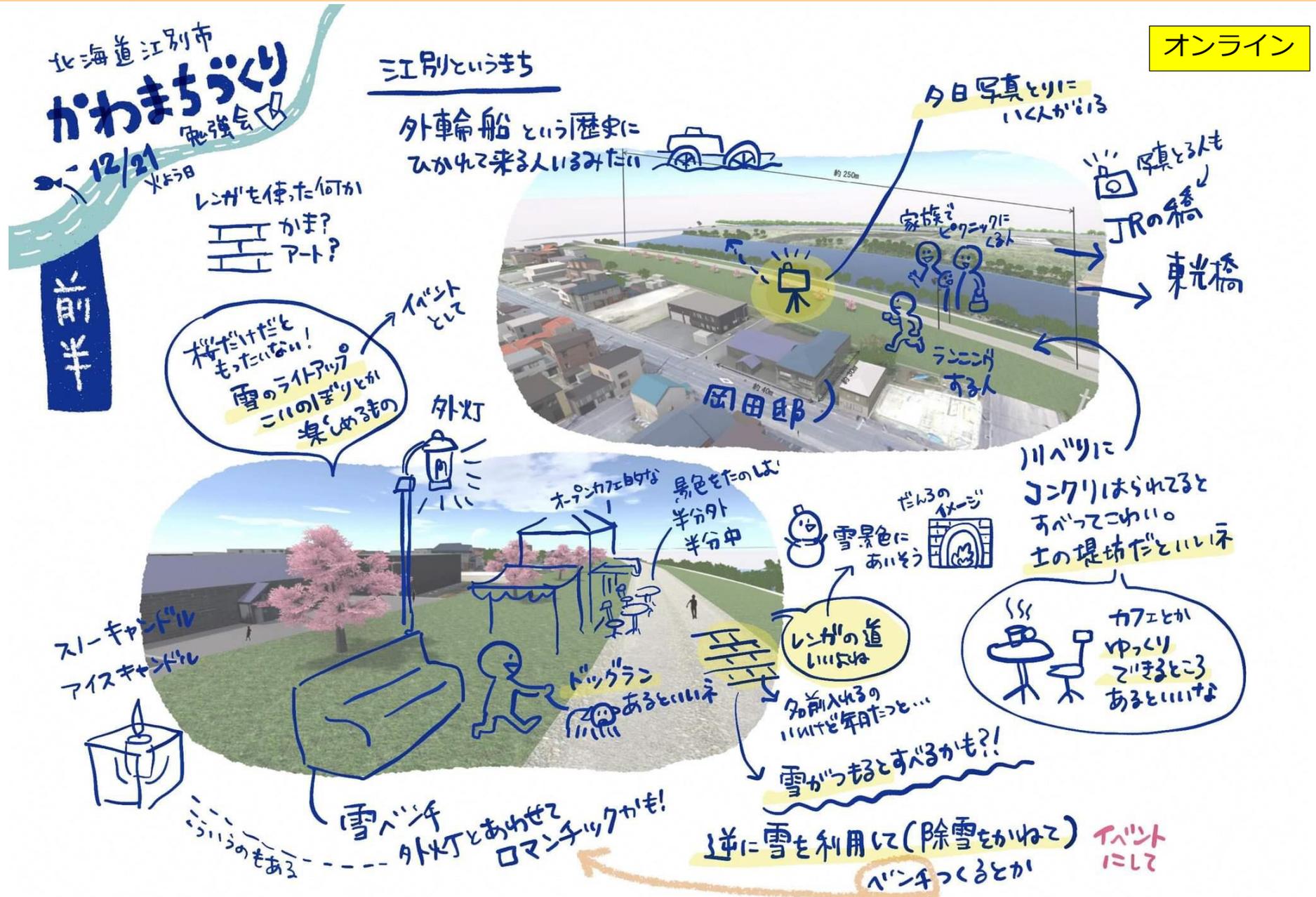
光の誘導で
馬場から川まで
つなぐ

お茶の市
お茶の市
お茶の市

お茶の市
お茶の市
お茶の市

第6回勉強会グループワークでの成果⑥

オンライン



第6回勉強会グループワークでの成果⑦

オンライン

北海道江別市
がわまちづくり
勉強会

12/21
水曜日

後半

屋上とか小スペースで
色々な人が活動する

持てる可能性何か
はじまり～おわりまで
設計でそれを活用する
活動にするとか

ハコつくと
管理問題に
なるから...

外灯必要
だね

防災的に
大丈夫？
お撤去
できるのかな

食
教育の拠点
になりうる

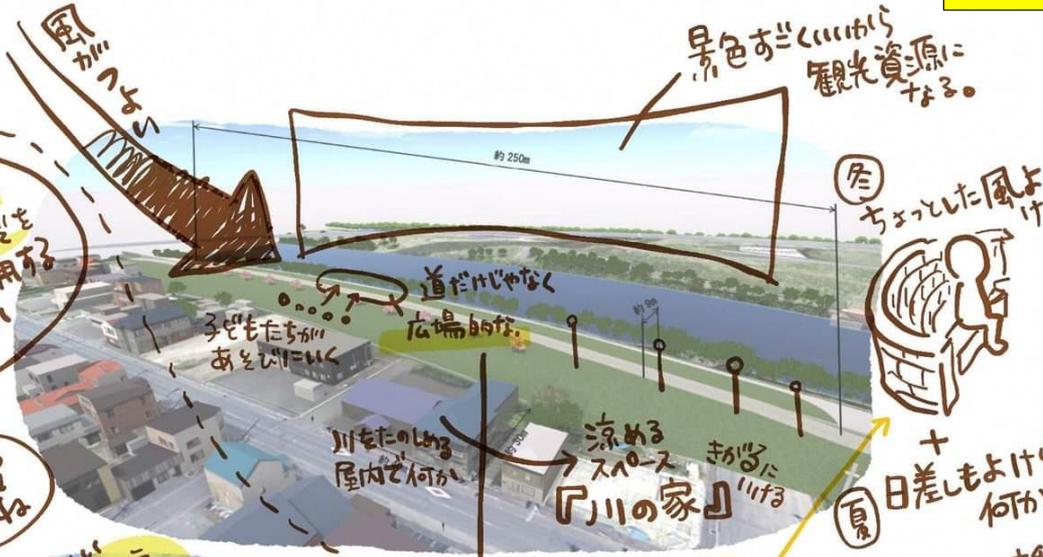
循環

火田にして
みんな管理
好きなもの植えてたり
BBQにしたり
お店だったり

火灯

自然電気で
ときた～ステキ

水カ
太陽光



景色が美しくから
観光資源に
なる。

冬
ちやっとした風よけ

子どもたちが
あそびたい

道だけじゃなく
広場的な

川をたのしめる
屋内で何か

涼める
スペース
『川の家』

夏
日差しもよけれる
何かほしい

たまえる集えるスペース
アートを展示してはみるとか

webでつながって
カラ見れたり
写真見れたり

おっお店
あんな！

何かイベント
やってる！

かかわるといいね

子どもが
集って
学ぶ場

人があまる
つくるなら集まったその先も想像
できるものだ

活動
教育

河川防災ステーションの機能①

- 河川防災ステーションは、洪水等の発生時における河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動の拠点として河川管理者が河川管理施設として整備しているもので、大半は水防センター（市町村等が水防活動を円滑に行う拠点）を併設している。
- 河川防災ステーション（水防センター含む）は、平常時においても利活用のポテンシャルを有しており、防災研修の場や河川情報の提供、川を題材とした展示など市民の憩いの場として利用されています。



平常時

- コミュニティスペースとして地域に提供
- 水防活動の訓練等に利用
- 防災学習施設や川の情報発信拠点として活用



災害時

- 水防資材備蓄倉庫
- 現地対策本部
- 水防団の待機場所、一般住民の避難場所

河川防災ステーションの機能②

■河川防災ステーションの平常時の活用方法は、大きく以下の4つに分類される。

自然レクリエーション

防災ステーションを平常時は公園・広場として活用し、市民の健康増進の場として役立っている。



観光促進

防災ステーションに道の駅や物産館等を併設し、地域の魅力を観光客に発信する施設として活用されている。



市民の交流拠点

防災ステーション内に休憩室、展示室、会議室等を配置し、市民の交流拠点として活用されている。



防災学習

防災情報パネルの設置、防災訓練の実施等により、市民の防災意識向上を図る拠点として活用されている。



江別河川防災ステーションの概要

- 【河川名】 石狩川水系石狩川（石狩川左岸KP28.8付近）
- 【所在地】 北海道江別市大川通6
- 【完成年度】 平成14年度
- 【敷地面積】 14,000m²
- 【連携主体】 江別市、地域住民
- 【活用事例】 防災意識啓発、水防訓練・体験学習、物産販売等



昭和36年頃の大川通地区



出典：地理院地図（電子国土Web写真）

現在の大川通地区



出典：地理院地図（電子国土Web写真）

石狩川合流点の千歳川横断図

出典：地理院地図（電子国土Web写真）

